

インバート型枠

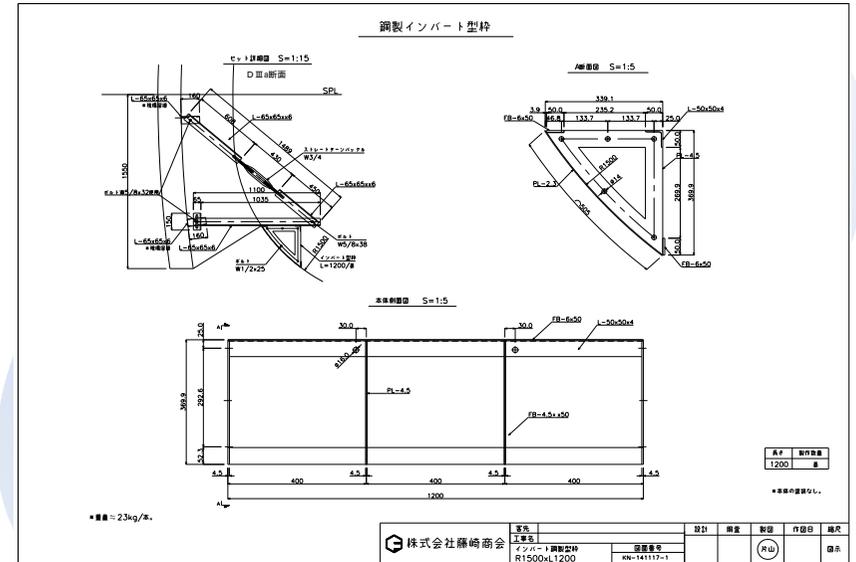
■ 施工フロー図



■ インバート型枠の特徴

- 型枠を設置することにより、人力の左官仕上げの場合よりコンクリートの密実性が向上します。
- 弊社の型枠は、延長方向の接合をボルトで行うため、スムーズに設置することができます。
- 型枠延長サイズは、鉄板の定型サイズを基本として使用しているため、L=1200としています。また、各トンネル現場に合わせたR型枠を受注生産で製作します。
- 鋼製型枠のため何度も転用可能で、経済的です。

■ インバート型枠承認図



■ インバート型枠設置写真



■ はじめに

トンネルインバートは、坑口部や地山の不良な区間、偏圧が予想される区間において断面を閉合する目的で設置され、トンネルの安定上重要な部分です。インバートの両側端部は、上部覆工形状や底版形状と比べると急曲面形状で設計され応力の集中しやすい箇所であり、上部覆工コンクリートの応力を底版部へ伝達する部分となります。

トンネルインバートの両側端部は、覆工コンクリートと底版コンクリートの接合部で曲面半径がR=1.5m程度と急曲面である。この部分のコンクリートの打設は、旧来は人力による左官仕上げにて施工されてきたが、近年はコンクリートの密実性向上を図るため、型枠を設置しての施工が多くなっている。

製作・販売会社